



Fukuoka Urban Expressway Route 1, Bridge over the Muromi-gawa Riv.

46 福岡都市高速道路1号線 室見川橋梁

早良区百道浜4丁目～西区愛宕4丁目

設計／建設技術研究所 他

設計指導／太田利明, 竹下輝和, 佐藤優 他

土木, 建築, 芸術工学, 地域住民のコラボレーションにより, 橋脚, 上部構, 防音壁の構造的及び視覚的なスリム化を実現し, 地域と調和し空と連続するような配色が都会的なイメージを演出している。



47

Momochi Seaside Park

47 シーサイドももち海浜公園

早良区百道浜2丁目

地行浜, 百道浜の埋立事業によって新しく作られた人工海浜を中心に整備された公園。1989年にはアジア太平洋博覧会(よかとピア)を開催。開幕時には福岡タワー, 福岡市博物館, 商業施設マリゾンなどが公園整備とともにオープン。人工海浜ではさまざまなイベントが開催され, 福岡の人気スポットとなった。

現在では福岡Yahoo!JAPANドームやJALリゾートシーホークホテル福岡, そして企業ビルなどが近隣に立ち並び, ウォーターフロントの景観を形成している。東西に横切る「よかとピア通り」と名付けられている幹線道路が昔の海岸線である。

JAL Resort Sea Hawk Hotel Fukuoka

48 JALリゾートシーホークホテル福岡

設計／シーザー・ペリ&アソシエイツ建築設計事務所
中央区地行浜2-2-3

1995年



48



Street of the World's Architects

49 世界の建築家通り

企画/水谷顕介, 積水ハウス, 福岡地所

シーサイドももちにおける1989年のアジア太平洋博覧会(よかトピア)開催に伴って整備された会場周辺街区の一部において、7人の建築家による集合住宅、商業施設を中心とした開発が行われた。足元の石積み、各棟間の処理など建築家達が一堂に会して議論しながら街並みを構築した実験的試みであった。

Seaside Momochi Verde Court
(Taisei Geotec, Fukuoka Shoji)

49a シーサイドももちヴェルデコート

(大成ジオテック・福岡商事)
設計/黒川紀章建築都市設計事務所
早良区百道浜3-3-1
1989年

Seaside Momochi Verde Court (Seismic, Zenith Japan)

49b シーサイドももちヴェルデコート

(サイズミック・日本ゼニス)
設計/葉デザイン事務所
早良区百道浜3-3-1
1989年

Seaside Momochi Verde Court (Vega)

49c シーサイドももちヴェルデコート(ベガ)

設計/木島安史+YAS都市研究所, 計画・環境建築
早良区百道浜3-3-1
1989年



Nexus Momochi Bldg. M

49d ネクスモモチM棟
設計/マイケル・グレイブス・アーキテクト
早良区百道浜4丁目
1990年

Nexus Momochi Bldg. S

49e ネクスモモチS棟
設計/スタンリー・タイガーマン
早良区百道浜4丁目
1990年

Seaside Momochi Arti Court Bldg. B

49f シーサイドももちアルティコートB館
設計/美川淳而+環・設計工房
早良区百道浜4-1-3
1989年

Seaside Momochi Arti Court Bldg. A

49g シーサイドももちアルティコートA館
設計/出江寛建築事務所
早良区百道浜4-1-4
1989年



Momochi-hama 4-chome Residential Area

50 百道浜4丁目戸建住宅の街並み

企画/積水ハウス, 宮脇徳建築研究室,
福岡市住宅供給公社
早良区百道浜4丁目

百道地区の低層戸建住宅群で構成されているゾーン。建築協定や緑化協定を制定し、戸建住宅による景観誘導を実施。細街路は人に優しい歩車融合策がとられ、住民の散策のための歩行者用通路などコミュニティ道路を配している。



Hyatt Residential Suites Fukuoka

51 ハイアット・レジデンシャルスイート・福岡

設計/三浦紀之建築工房
早良区百道浜1-3-70
1992年



Nexus Momochi Residential Tower

52 ネクスモモチレジデンシャルタワー

設計/マイケル・グレイブス・アーキテクト
早良区百道浜4-31-1
1996年

Seinan Gakuin University Museum
(The Dozier Memorial Hall)

53 西南学院大学博物館

(ドージャー記念館)
設計/ウィリアム・メレル・ヴォーリズ
早良区西新3-4
1921年

大正期を挟んで日本で活躍した建築家、W.M.ヴォーリズの煉瓦造り建築の代表作。2004年の高校移転後に福岡市有形文化財に指定された。2006年5月からは、西南学院大学博物館として開館。キリスト教関連の資料などを展示している。



Water-Land / Kiyoyuki Kikutake

54 ウォーターランド

作者/菊竹清文
早良区百道浜3丁目(百道中央公園)
1989年

Grand Oiseau Amoureux / Niki de Saint Phalle

55 大きな愛の鳥

作者/ニキ・ド・サンファル
中央区地行浜1丁目(地行中央公園)
1993年

The Liberty, The Victory, The Force,
The Eloquence / Emile Antoine Bourdelle

56 自由・勝利・力・雄弁(4体)
作者/エミール・アントワーン・ブルデル
早良区百道浜3-1-1(福岡市博物館前)
1990(1918-1922)年

Tree Spirit / Dhruva Mistry

57 木の精

作者/ドゥルーヴァ・ミストリー
中央区地行浜1丁目(地行中央公園)
1993(1990)年

Kohayo / Kyubei Kiyomizu

58 向波容

作者/清水九兵衛
早良区百道浜2-3-8(RKB本社前)
1996年

清水焼当主として作陶にも携った彫刻家の作品。明快でユーモラスなフォルムには、作者の量感やスケールを的確につかむ彫刻家としての能力が表れており、近くに寄ったときの圧倒的な存在感が素晴らしい。“向波容”という作品名は波(WAVE)を支える人の姿を表している。作者は2006年7月逝去。



Aero Gallery DUNE

59 エアロギャラリーDUNE

早良区百道浜1丁目
1996年

Nostalgia of Circulation / Jae Eun Choi

59a ノスタルジア・オブ・サーキュレーション

作者/崔在銀
1996年

Night Scene/ Jean Francois Brun

59b ナイトシーン

作者/ジャン・フランソワ・ブラン
1996年

Ultra Find / Noboru Tsubaki

59c ウルトラ・ファインド

作者/椿昇
1996年

Poodle / Shin Myeong-eun

59d プードル

作者/申明銀
1996年

百道を彩る パブリックアート

福岡市内で最もパブリックアートの密度が高いエリアが百道である。ニキ・ド・サンファルの極彩色の神話の鳥、福岡市博物館前に悠然と並ぶブルデルのモニュメンタルな彫刻群、ドゥルーヴァ・ミストリーやパリー・フラナガンの作品など、散策すると多くの作品に出会える。

エアロギャラリーDUNEは、建物と建物をつなぐペDESTリアンデッキに作品を配置した例。ジャン・フランソワ・ブランの「ナイトシーン」は夕刻から夜にかけてライトアップされる幻想的な作品。エントランス側では、申明銀のピンクのプードルが人目を引いている。

